

令和4年度 第39回 大学院セミナー

令和4年11月1日

分野名 Area of Research (責任者名)(内線)	臨床感染症学分野 泉川 公一 (内線 7731)
演題 Title	臨床現場における変化・改善を科学的に検証する (準実験研究デザインの概論と応用)
講師等 Presenter	Associate Professor Division of Infectious Diseases/Department of Internal Medicine University of Iowa Carver College of Medicine Core Investigator Center for Access & Delivery Research and Evaluation (CADRE) Iowa City Veterans Affairs Health Care System 後藤 道彦 先生
概要 Abstract	治療・介入効果を判定するための因果推論には、一般的にランダム化比較試験(RCT)の実施が望ましいと考えられている。その一方で、RCTは内的妥当性が高いものの外的妥当性が高いとは限らず、研究実施に関わる費用や労力も大きくなりがちであり、実際に実施することが極めて難しいことも多い。また、倫理的にRCTが実施不可能な場合も少なくない。それらのRCTの限界を補完する手法として、ランダム化を伴わない準実験研究デザインの重要性は増し続けているが、RCTやコホート研究、ケース・コントロール研究などの従来の手法に比べると認知度は未だ低いと言わざるを得ない。本講義では、準実験研究デザインの臨床研究因果推論における役割と、各種の準実験研究デザインの概要を解説する。
開催日時 Date and Time	令和4年11月28日(月) 18:00~19:00
開催方法 Online/Face to face	医学部記念講堂
備考 Notes	

- 先端医療科学特論(基礎編)
- 先端新興感染症病態制御学特論
- 日本語(Japanese)
- 対面(Face to face)

- 先端医療科学特論(臨床編)
- 先端放射線医療科学特論
- 英語(English)
- オンライン(Online)